

全教職員
向け

児童生徒との適切な関係を保つために

不適切な関係の多くはSNSのやりとりから

SNSによる個人的なやりとりから児童生徒と不適切な関係になってしまうケースが多くあります。児童生徒との個人的な電話やSNSでのやりとりは絶対にしないという認識が必要です。また、卒業生等との関わり方にも注意しましょう。その他、個人の携帯から保護者への連絡はしない、やむを得ず使用する場合には、校内ルールを厳守するといった認識を職場で共有してください。

児童生徒との適切な関係を保つために、以下のことを理解して児童生徒と関係づくりをする必要があります。

学校にはこんな特性がある

学校は、教職員と児童生徒との関係性から不適切な関係が起りやすい職場ともいえます。

- 一人一人に寄り添い、個別に悩みの相談を受ける
→感情移入してしまう場面も起こり得る
- 児童生徒にとって教職員は頼りになる存在である
→児童生徒が異性の教職員に好意を寄せるケースもある
- 立場上、教職員には優位性がある
→自己中心的な判断、強引な指導になる可能性がある
- 児童生徒と関わる場面で、他の人の目が入りにくい
→状況判断が教職員個人に委ねられる場合もある

児童生徒と良好な関係を作る2つの視点

児童生徒と良好な関係を保つためには、①の視点に加えて二者の関係を俯瞰的・客観的に見る②の視点が必要です。

